

Week of October 29 - Don't Grieve the Spirit Small Group Lesson 14

知り合う

預言者イザヤは、**イスラエルの子ども達**と、神が彼らをエジプトでの奴隷状態から解放した時のことについて、このように記しています。（イザヤ63:10 聖書協会共同訳）：
しかし、彼らは逆らい、主の聖なる霊を悲しませた。
／それで、主は彼らの敵となり、彼らと戦われた。

聖書を通して、神の民が神に反抗し、神がその**悲しみを明らかにされた**ことは何度もあります。神が彼らの**敵になったかのような対応**をされることもしばしばありました。

神のこのような対応は、神の聖なる対応と言えるでしょうか？

聖句 - エペソ人への手紙 4:30-32（聖書協会共同訳）

30 神の聖霊を悲しませてはなりません。あなたがたは、聖霊によって、贖いの日のために証印を受けたのです。31 恨み、憤り、怒り、わめき、冒瀆はすべて、一切の悪意と共に捨て去りなさい。32 互いに親切で憐れみ深い者となり、神がキリストにおいてあなたがたを赦してくださったように、互いに赦し合いなさい。

(聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会 Japan Bible Society, Tokyo 2018)

学び

1. パウロが主に心配しているのは、何のことだと思いますか？エペソのクリスチャンたちが恨み、怒り、わめき、冒瀆、悪意などを捨てなければ、神が彼らの敵になるかもしれないと警告しているのでしょうか（31節）

2. 32節に関して考えてみましょう。パウロが動詞の過去形を使っていることに注目してください。：「神がキリストにおいてあなたがたを赦してくださった」これは、過去も未来も含めて、神がすべての罪を赦されたということでしょうか？

3. パウロは30節で、エペソのクリスチャンたちは、聖霊によって、贖いの日のために証印を受けた（過去形）と語っています。このことは信者にとってどのような意味を持ちますか。

4. 私たちのすべての罪（過去と未来）が赦され、私たちの贖い（救い）はすでに封印（保証）されていることを正しく理解しているなら、なぜ聖霊を悲しませることを気にするのでしょうか？（ローマ6章参照）

適応: もし私たちが32節のパウロの指示に従うとしたら、何か気にしなければならない事はありますか？私たちはパウロの指示にどこまで従うことができますか？

ディスカッション:ローマ8:14を読んでください。聖霊はどのように私たちを導いてくださいますか？この導きは、私たちを贖いの日に備えるためにどのように役立ちますか？私たちが聖霊の導きに（抵抗するのではなく）屈服する限りにおいて、私たちの人生はどのような点で楽になり、どのような点で困難になると思いますか？

シェア

ある罪や誘惑に打ち勝つことができたとき、あるいは良い仕事を成し遂げることができたとき、それが神の聖霊の導きの証拠だと確信し、驚いたときのことを思い浮かべてください。グループで分かち合ってください。

成長

お互いのために祈りましょう。また、私たちが神の御霊の導きに身をゆだねることができるように、そして、私たちが贖いの日に恥をかかないように、神を知り、神を喜ばせ、神に似た者となることができるように、神が私たちとともにご自分の道を歩んでくださるように。また、たとえ御霊が私たちを苦難に導き、苦難を通して導いてくださるときであっても、より大きな喜びを見出すことができるように祈りましょう。